

れんけい 臨時号

福島県委託
令和3年度 大学発イノベティブ・ベンチャー創出事業特集号

令和4年3月31日発行
発行 アカデミア・コンソーシアムふくしま事務局
住所 〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地
(福島大学 研究・地域連携課内)
電話 (024)548-5295
メール acf@adb.fukushima-u.ac.jp
URL http://acfukushima.net/innovation/

未来の起業家育成プログラム 編

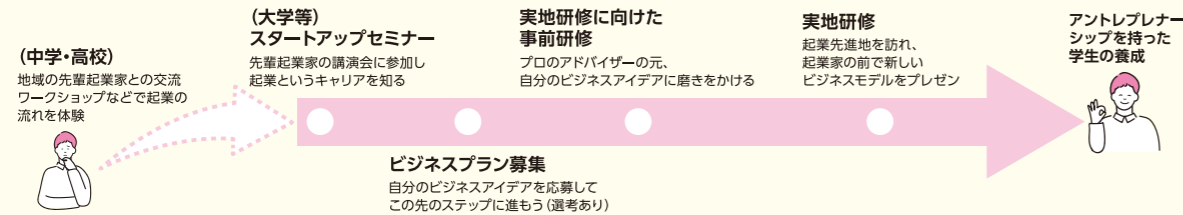
アイデアを新しい
ビジネスモデルに



2022年3月12日 成果発表会

未来の起業家育成プログラムは県内の中学生・大学生等を対象として、地域社会等の課題に対する解決策を考えるワークショップの開催や起業先進地での研修を実施。ベンチャーマインドの醸成を通して、未来の起業家人材層の拡大を目指しています。

未来の起業家育成プログラム概要



NEW

中高生プログラム

今期からは、県内の中学生にも対象を広げ、起業をもっと身近に感じてもらうためのプログラムをスタートしました。浜・中・会津地方の中学・高校において、地元の起業家の講演や地域課題を解決するワークショップ等を企画してきました。残念ながら今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響でオリエンテーションのみの実施となりましたが、来年度も実施に向けて活動を続けてまいります。



プログラム担当者メッセージ

大学生等向けプログラムは、昨秋の公開セミナーを皮切りに、ACF会員19校の学生から応募、選抜された14名が「地域課題を解決する、新しいビジネスモデル」策定に挑戦。約半年に渡り専門家による指導やお互いの切磋琢磨で、見違えるほど成長してくれました。コロナ禍のため、長崎研修はオンラインになってしまいましたが、3回のワークショップと成果発表会は万全な対策で対面開催し、いずれも白熱のディスカッションとプレゼンが展開されました。

福島で学び、暮らす私たちにとって、地域課題に正面から取り組むことは「正解のない課題」を考え、その解決に挑戦することに他なりません。それはSDGs17の目標に加え、「18番目、福島復興」へのチャレンジそのものです。中高生向けプログラムも含め、この未来の起業家育成プログラムは「大学発ベンチャー創出・育成プログラム」に大きな流れと

して直結するものです。実際に自治体や企業を巻き込んだの実証実験に誘いがあつたチームや、スムーズスタートの起業レベルにたどり着いたものも数件あったことを、私たちは誇りに思っています。

最後に、今年度頑張ってくれた皆さんと、令和4年度も予定する当プログラムに興味を持ってくれた福島の学生の皆さんに、この起業家育成創出事業に関わりの深い方の講演から引用させていただきます。

「特に若い皆さんに意識して欲しい。『何が本質的な課題か考え抜く力』を。つまり『課題設定力』です。アインシュタイン曰く、『私は地球を救うために1時間の時間を与えられたとしたら、59分を問題の定義に使い、1分を解決策の策定に使うだろう』と。」

頑張ってください。期待しています。



アカデミア・コンソーシアム
ふくしま事務局
統括マネージャー 加藤 拓也

れんけい 臨時号

福島県委託
令和3年度 大学発イノベティブ・ベンチャー創出事業特集号

令和4年3月31日発行
発行 アカデミア・コンソーシアムふくしま事務局
住所 〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地
(福島大学 研究・地域連携課内)
電話 (024)548-5295
メール acf@adb.fukushima-u.ac.jp
URL http://acfukushima.net/innovation/

大学発ベンチャー創出・育成プログラム 編

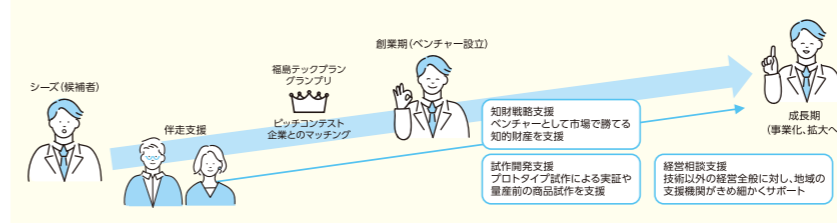


福島県内の大学発ベンチャー創出の新たな挑戦が始まる

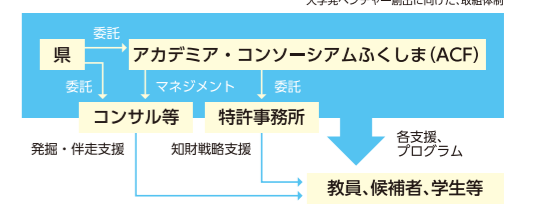
2021年11月27日 第4回福島テックプラングランプリ

2018年からスタートした福島県内大学発ベンチャー創出に掛かる事業は、昨年第1フェーズが終了し第2フェーズを迎えます。この事業では、主に自身の研究成果を社会に還元し社会課題を解決しようとする研究者の支援を行ってきました。今年度からは、これまでのシーズの発掘に加え、ベンチャー設立から事業化までの支援にも力を入れ、県内の大学発ベンチャーを全面的にサポートしてまいります。

大学発ベンチャー創出・育成プログラム概要



事業体制



福島県 担当者メッセージ

福島県では、「スタートアップの地ふくしま」と題し、起業家が次々と生まれる環境をつくるべく、潜在的起業家の発掘から事業化までを一体的に支援しております。その中でも、大学等の研究者に特化したベンチャー支援は本県の地方創生の活性化においても非常に重要な支援と考えております。本事業は、県内大学等のネットワークを有するアカデミア・コンソーシアムふくしまと、研究シーズの発掘・伴走支援をするコンサルファーム(リバネス社)との3者タッグにより支援をしております。

本県では東日本大震災以降、浜通り地域等(イノベ地域)を再建すべく多くの事業者が参入しております。その中には大学発ベンチャー出身の事業者もあり、社会に与えるインパクトの大きい事業を展開しております。我々も本県からそういった大学発ベンチャーを1社でも多く発掘・育成することで、今後の本県の産業を担っていく事業者が生まれることを期待しております。



福島県 商工労働部 産業振興課
副主査 四栗 和也

第4回 福島テックプランングランプリ開催報告

大学発ベンチャー創出・育成事業は、研究視点で創業支援を担う株式会社リバネスと共に支援を行っています。その中で福島テックプランングランプリは、候補者の発掘・研究成果のアイデアを企業の方々へ発信、そしてマッチングする場として開催してきました。第4回目となる今回も9チームのファイナリストが熱いプレゼンテーションを繰り広げ、審査の結果、最優秀賞1件、企業賞6件、特別賞1件が決定しました。

ファイナリスト

<p>チーム名: MT lab. 所 属: 福島工業高等専門学校 化学・バイオ工学科 氏 名: 助教 森 崇理 テ マ: 鉄とレアメタルを 組合せて多段階の 触媒反応を実現する</p>	<p>チーム名: C単 (じゅうひとえ) 所 属: 福島大学 共生システム理工学類 氏 名: 佐々木 子龍 テ マ: 酵素による廃プラの 完全循環社会の実現</p>	<p>チーム名: e-SmartLearn 所 属: 会津大学 コンピュータ理工学 研究科 氏 名: 上級准教授 渡部 有隆 テ マ: 誰でもスマートに演習 教育が受けられる 世界を実現する</p>
<p>チーム名: Newデンタルラボ 所 属: 奥羽大学 歯学部 氏 名: 講師 真島 いづみ テ マ: 口腔細菌ペイオネラを 使った新しい虫歯予防 法の開発</p>	<p>チーム名: F・I・T 所 属: 福島工業高等専門学校 ビジネスコミュニ ケーション学科 氏 名: 教授 芥川 一則 テ マ: 地域野外活動の 完全自動運転を高精度 3D地図で実現</p>	<p>チーム名: RMFD 所 属: 桜の聖母短期大学 生活科学科 氏 名: 准教授 梶谷 宇 テ マ: 食事によるマクロ ファージ機能制御で 健康生活促進</p>
<p>チーム名: FLAGS 所 属: 福島県立医科大学 会津医療センター 氏 名: 准教授 樋口 光徳 テ マ: 肺癌検診における 人工知能(AI)の 実用化</p>	<p>チーム名: LINK 所 属: 福島工業高等専門学校 会津システム工学科 氏 名: 助教 丹野 淳 テ マ: メタン発酵技術を用いた循環型社会の 形成</p>	<p>チーム名: U-Aizu YAG LAB 所 属: 会津大学 コンピュータ理工学 研究科 氏 名: 准教授 自由 勇一 テ マ: 空の自由と安全を担保 する分散型無人飛行 管理システム</p>

基調講演



大学発ベンチャー
“株式会社e6s”設立への道
～ロハスのトイレの社会実装を目指して～
株式会社e6s 創業者/日本大学工学部 教授
中野 和典 氏

ライトニングトーク

- 科学的に農産生産物の味を表現し産出の仕方を広げる
味覚表現のサイエンス (福島大学 共生システム理工学類 准教授 大橋 弘範)
- 機能性食品を指向した未利用資源の実用化の取り組み — 根食文化プロジェクト —
一般社団法人アグロエンジニアリング協議会 (奥羽大学 薬学部 准教授 村田 清志)

最優秀賞を受賞して

この度は、本受賞に際しまして執筆の機会を頂き誠にありがとうございます。研究成果を社会還元に関心がありながら、その方法を模索しておりました最中、幸いにもリバネスの方々にお声掛け頂き、本グランプリ出場のコツをいただくことができました。そして、栄えある最優秀賞とコージンバイオ賞を頂いたことは、まだまだアイデア主導の本研究の将来性を高く評価して頂いた結果と厳密に受け止め、身の引き締まる思いであります。グランプリでは、口腔細菌ペイオネラを利用し、歯ブラシに頼らない、誰でも簡単に行える虫歯予防法を開発することで、超

齢社会における実質的な「健口長寿」の実現を提案致しました。この発表を通じて、自らでは気づけない視点や可能性を示唆して頂いたこと、更に産官学を超えた多くの貴重な出会いを得られたことは、今後の研究発展に大きな財産になると確信しております。最後になりましたが、本グランプリ出場にあたりサポート頂いた、リバネスの方々、多くの先生方や同僚、学生の皆様にご指導を仰ぎながら、1日も早い社会実装の実現に向けて研究活動を続けて参ります。



奥羽大学 歯学部
口腔形態解剖生理学講座
口腔感染免疫学分野
講師 真島 いづみ

リバネスのサイエンスブリッジコミュニケーターによる伴走支援

本事業で発掘・伴走支援を担う株式会社リバネスは、研究者集団のベンチャー企業として、大学研究者に寄り添った創業支援を行っています。福島テックプランターの取り組みは4年目を迎え、合計76チームにご参加いただいております。今年度も、発掘段階では大学研究室を訪問し、先生方の最先端の研究が変える未来についてディスカッションをして参りました。ファイナリストに選ばれたチームには、「福島テックプランングランプリ」に向けて3回以上のメンタリングを実施し、プレゼンテーションを磨き上げを行いました。特に、技術の新規性、解決する課題、

研究の社会実装に対する熱意等の要素を洗い出し、それらをよりわかりやすく伝えパートナー企業との連携可能性を高めることを目指しました。また、グランプリ以降は、受賞の有無に限らずパートナー企業や知財・経営の専門家との面談を重ね、事業化に向けた一歩の具体化に努めました。過年度のエントリーチームのなかには、県の助成金や知財支援の仕組みを活用して、試作開発や特許出願といった次のステップに進んだところもあります。今後も活動を継続し、福島県初の革新的な事業の創出につなげて参ります。



株式会社リバネス
地域開発事業部
サイエンスブリッジ
コミュニケーター
秋永 名美

第4回 未来の起業家育成プログラム(大学生等向け)

スタートアップセミナー

2021年10月15日

学生のベンチャー・スピリット「挑戦すること」へのマインドセットを高めるため、先輩起業家を2名お招きしご講演いただきました。

起業家講師
株式会社 Eyes, JAPAN
チーフ・カオス・オフィサー/代表取締役 山寺 純氏
情報整備局
代表 和田 晃司氏



ビジネスプラン応募

2021年10月15日~11月7日

地域課題を解決する新しいビジネスアイデアを募集しました。その中から14名の学生が選抜されました!

ビジネスプラン ブラッシュアップ

2021年11月20日、12月18日
2022年1月22日

ビジネスプラン応募で選ばれた14名を対象に3回に渡って、ビジネスプランの作り方や相手に伝わるプレゼンテーション技術などを講師から学びました。

講師
福島駅西口インキュベートルーム
統括マネージャー 新城 榮一氏
インキュベーション・マネージャー 重巢 敦子氏



参加者の声

何事でも一人でやるには限界があります。故に起業家の方の意見や同じ志を持つ仲間と話し合うことは貴重な体験です。自分の成長に喜び、思い通りに行かず苦悩することもありました。この体験を得てこれまで学んだ事を忘れず今後につなげていきたいと思えます。

日本大学工学部 加藤 駿永



ここでは、ビジネスアイデアを実際に形にし、実施する術を学びました。ビジネスアイデアには、相手がいることを認識し、どのような価値提供ができるか、あるいは、社会課題を如何にして解決するか、充分に考える良い機会となりました。

日本大学工学部 吉田 健太郎



起業を見据えて参加したプログラムでしたが、ビジネスモデルにして成立させて持続可能な活動を持つことができました。また、現在活動している中でも「資料の見せ方」などは活かせる学びだったので、大学だけでは学べないことを社会に出る前に学べよかったです。

日本大学工学部 永見 政悟



元々、起業家について無知に等しく、学校で教わる科目でもないので、ただ起業するには莫大な資金がかかることしかイメージができませんでした。しかし、たくさんの起業家の貴重な話を聞いて、起業家の概念が変わりました。起業家とは、人の心を掴むスキル、洞察力、積極性をすべて兼ね備えている人だということも理解できました。

福島大学 豊岡 慶



漠然と起業したいという意志があり、実際に行動に移して今回のプログラムに参加しましたが、とても勉強になりました。ビジネスがどのような仕組みでできているかや実際にビジネスを考える大変さが分かりました。

日本大学工学部 櫻井 駿



自分のビジネスプランなど悩むことも少なくありませんでしたが、このプログラムで今までの「話を聞いて作業をこなす」学びではなく、「自分の考えを表現する」学びができたと思います。今後は、ここで学んだことを将来的な起業時はもちろん社会人としての活動に生かしていきたいと考えています。

福島大学 井上 維文



このプログラムで、1年前には苦手であった人前で意見を述べるできるようになり、自分の考えを多くの人に知ってもらえることの楽しさを覚えました。また、仲間と協力することの大切さも学びました。このプログラムで知り合った同じ大学の仲間と学年関係なく時間を過ごせたことはこの上ない素晴らしい経験でした。

日本大学工学部 石岡 祥一



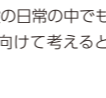
このプログラムで案を考える中で大変だと感じた点は、現存しているビジネスと自分のビジネスに他者の目に留まるような大きな違いを考えなければならない点です。このプログラムに参加してビジネスアイデアを考える難しさも痛感しましたが、ブラッシュアップしていく中でブルーオーシャンはレッドオーシャンの中にあるのではないかと新たな学びを得ることもできました。

福島大学 中島 綾香



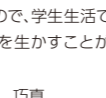
私は起業や社長になることに憧れがありこのプログラムに参加しましたが、実際は自分の考えの至らなさを知ることになりました。「これは面白そう」「なんとなく稼げそう」だけではビジネスは成り立ちません。ビジネスとは仕組みを作ることだとわかりました。普段の日常の中でもビジネスの仕組みをに目を向けて考えると案外面白いです。

日本大学工学部 岩木 翔吾



このプログラムに参加する前は起業に関心があっただけで起業がどのようなものか知らなかったの深く知る機会になりました。また、パワーポイントの作成をする能力やプレゼンをする能力を伸ばすことができたので、学生生活でもここで学んだ知識を生かすことができそうです。

福島大学 加藤 巧真



元々いくつか事業案があったものの構想だけで終わっていたため、具体的な行動を起こそうと今回のイベントに参加しました。このプログラムでは発表資料作成の方法を学んだり、事業案を深く練る際のアドバイスなどをいただきました。その中でも一番変化をもたらしたのは実際の発表です。毎回講師の方々から意見をいただけるため、多くの改善点が見つかり自分の中にはなかった知見が得られました。

会津大学 佐藤 迅



長崎オンライン研修

2022年2月25日

長崎の皆様の前で学生たちのビジネスプランプレゼンテーションを行いました。審査員は、長崎県の起業家や起業支援をされている起業のプロ達ばかり、厳しくも温かいアドバイスをいただきました。また、長崎の企業をリモート訪問するなどし、福島にいても長崎を感じる研修となりました。

ご指導いただいた長崎のみなさま

中小機構 ながさき島インキュベータ チーフインキュベーションマネージャー 宮本 美砂氏
長崎県産業労働部 新産業創造課 係長 松尾 幸治氏、主事 長尾 瑠奈氏
長崎県ビジネス支援プラザ インキュベーションマネージャー/産業カウンセラー 大塚 友絵氏
長崎大学 FFG アントレプレナーシップセンター センター長/教授 上條 由紀子氏
株式会社スチームシップ 代表取締役 藤山 雷太氏
BugsWell 合同会社 代表 浪方 勇希氏
株式会社コミュニティメディア 代表取締役 米田 利己氏/専務取締役 米田 伊織氏



成果発表会

2022年3月12日

本プログラムの総まとめとして、成果発表会が行われ、これまでお世話になった方々の前で学生がビジネスピッチを行いました。また、特別ゲストとして「PowerPoint最強資料のデザイン教科書」の著者でもある福元氏をお招きし特別講演が行われました。

ご指導いただいたみなさま

福島県 商工労働部 産業振興課 主幹兼副課長 中村 敬氏
福島駅西口インキュベートルーム 統括マネージャー 新城 榮一氏
福島大学地域創造支援センター 教授 大越 正弘氏
情報整備局 代表 和田 晃司氏

特別講演
演題: 思わず読んじゃう! パワポ資料を作るコツ
講師: 福元 雅之氏 (PowerPoint 最強資料のデザイン教科書) 著者)

